



おかやま民俗芸能 フェスティバル 2018 秋

—平成30年度 岡山県民俗芸能大会—

入場無料

平成30年

10月21日(日)

13:00～ 開場 12:30

まなび広場にいみ (新見市新見123-2)

- 【主催】 岡山県民俗芸能大会実行委員会
【共催】 岡山県教育委員会、新見市教育委員会、岡山県文化財保護協会
【後援】 笠岡市教育委員会、玉野市教育委員会、美咲町教育委員会、真庭市教育委員会、(公社)岡山県文化連盟、(公財)岡山県郷土文化財団、beyond2020 プログラム、山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち
【助成】 (公財)福武教育文化振興財団、(公財)エネルギー文化・スポーツ財団、(一財)岡山県教育職員互助組合 平成30年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした地域活性化事業)

演目等

- ◆大島の傘踊(笠岡市)
- ◆頭打ち(新見市)
- ◆太鼓田植(新見市)
- ◆波知の獅子舞(玉野市)
- ◆八幡神社・境神社の獅子舞(美咲町)
- ◆早川踊(真庭市)

アトラクション

- ◆昔話の語り(新見市)

解説: くらしき作陽大学 田中英機

問合せ先

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 岡山県教育庁文化財課内 岡山県民俗芸能大会実行委員会事務局
TEL:086-226-7601 FAX:086-224-5591 E-mail:bunka@pref.okayama.lg.jp

がんばろう 岡山! — 復興へ 心つなげて —

おかやま民俗芸能 フェスティバル

2018 秋

演目・出演団体紹介

おおしま かさ おどり 大島の傘踊

おおしま かさ おど ほぞん かい
大島の傘踊り保存会／笠岡市

笠岡市大島地区に伝わる盆踊りで、江戸時代に、細川通董公の百回忌墓前祭で始まったと言われています。傘を刀に見立てて、斬り合うように踊るのが特徴です。



かしら う 頭打ち

なかやま はちまんじんじや かくう ほぞん かい
中山八幡社楽打ち保存会／新見市

新見市中山八幡社の秋祭りに、御神幸の供奉楽として奉納される伝統的な郷土芸能です。社の境内で子どもたちが四人一組で鐘の音にあわせて太鼓を打ち鳴らし飛びように踊ります。



たい こ た う え 太鼓田植

こうじろきょうど みんよう ほぞん かい
神代郷土民謡保存会／新見市

備中北部で伝承されている田植え行事で、太鼓のテンポに合わせて、早乙女が苗を植えていきます。太鼓や歌で田の神をたたえるとともに、共同作業の慣習として伝承されています。



はち し し まい 波知の獅子舞

はちしし まい ほぞん かい
波知獅子舞保存会／玉野市

玉野市八浜町の波知集落に伝わる250年の歴史ある古式ゆかしい獅子舞です。特に、笛の音の美しさは近隣に比を見ないと言われています。



はち まん じん じや さかい じん じや し し まい 八幡神社・境神社の獅子舞

はちまんじんじや さかいじんじや しし まい ほぞん かい
八幡神社・境神社の獅子舞保存会／美咲町

秋の大祭にみられる神事で、優雅な身のこなしで舞う獅子の姿は、みる人を神秘の世界へ誘います。



はや かわ おどり 早川踊

はや かわ おどり ほぞん かい
早川踊保存会／真庭市

真庭市久世地区に伝わる盆踊りで、江戸時代後期、幕府代官の早川八郎左衛門正紀が、京都から持ち帰ったのが始まりと伝えられます。調子が小唄調でゆったりしているのが特徴です。



昔話の語り

アトラクション

昔ばなしの里こっぴり／新見市

昔ばなしには不思議な力があって、語り手も聞き手も「ほっこり」した気持ちになります。新見市に拠点を置き活動している「昔ばなしの里こっぴり」の会員が情緒たっぷり語ります。



まなび広場にいみ

〒718-0011 岡山県新見市新見123-2
TEL(0867) 72-6110

- ◆JR伯備線新見駅／車5分
または徒歩20分
- ◆中国自動車道新見IC／車10分

駐車場 普通車約200台(無料)